



# たわれじ



多職種チームのパートナーとして 看護局長 吉岡 佐知子

皆さんにとって看護師とはどういう存在ですか？

多職種チーム連携の重要性は皆さんもご存じのことと思います。

私たち急性期病院で働く看護師にとっては多職種いずれも大切な仲間ですが、特に医師との連携は密に求められます。松江市立病院を利用される患者さんやご家族にとって、また、研修医の皆さんにとっても『頼りになる』看護師でありたいと思います。

私にとって研修医の皆さんは・・・。礼儀正しく、澁刺としていて、とても元気をもらえる存在です。若さにあふれ、皆さんが居る場所は活気があふれています！

これからも多くを学び、若さによってのみでなく（これも大切ですが！）、頼もしい医師として多職種によるチーム活動を活気づけられる存在になってください。将来の心強いパートナーを応援しています。

## 臨床研修病院としての役割

地域の中核病院としての機能を有する当院において、最新の医療施術及び情報を提供し、病院全体として医師の臨床研修を積極的に支援する。

### 初期臨床研修

#### 理念

プライマリ・ケアから高度な医療まで幅広い経験を積むとともに、様々な医療従事者と密接な連携のもとで多くの患者に接することにより、医師として必要な人格を育み、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成する。

#### 基本方針

- ① 臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を習得する。
- ② 人としても信頼される人格・素養を身につけ、思いやりの心を持って患者およびその家族に向き合い患者中心の全人的医療を行える。
- ③ チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種と協働して診療することができるコミュニケーション能力を身につける。
- ④ 医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤ 地域の中核病院としての役割を理解し、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚し、行動できる。



# 10名の1年次研修医の先生を迎えました

10名の新しい仲間と令和3年度スタートしました。  
1年次、2年次ともに助け合って、充実した研修生活を過ごしてもらいたいと願っています。

安心して研修ができるよう、病院全体でバックアップしていきます！



## 🌸 1年次研修医の皆さんからひとこと 🌸



**飯田 みずき**

精一杯頑張ります!!



**太田 純歌**

成長できるよう  
精一杯頑張ります!



**岡田 優**

精一杯頑張ります。  
よろしくお願いします。



**韓 宇辰**

成長できるよう  
頑張ります!



**神澤 和慶**

一生懸命頑張りますので、  
よろしくお願いします。



**黒川 透**

謙虚な姿勢を忘れず、  
たくさん学んでいきたい  
です。



**齊藤 悠里子**

2年間、精一杯頑張ります  
ので、よろしくお願いします。



**田邊 紗也夏**

2年間沢山のことを吸収  
できるように頑張ります。  
よろしくお願いします



**横原 侑子**

2年間がんばります。  
よろしくお願いします。



**三好 淳也**

1日を大切に研修させ  
ていただきます。  
よろしくお願いします。



## 令和2年度臨床研修修了式



▲最後にみんなで記念写真。  
皆さんの今後のご活躍を祈っています。

**修了おめでとう**



令和3年3月23日に臨床研修修了式をとりおこないました。

医科2年次研修医7名、歯科研修医2名、たすきがけ1年次研修医1名の先生方が当院での臨床研修を修了しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ささやかな送別会を開催し、全員で楽しい時間を過ごしました。

## ACLS 講習会を受講しました



一年目研修医10名がACLS講習会を受講し、技術を習得しました。  
研修医の皆さん、お疲れさまでした。



## 指導医からヒトコト

呼吸器内科 武田 賢一



大学生の時、「勉強をして国家試験に合格したら、立派な先生になれる。」と思っていました。医師として働き始めたら、まったくわからないことだらけでびっくりしました。教科書で勉強したことや国家試験で覚えたことが全然役に立たない知識に思えました。

働き始めてすぐのころ、3年目の先生をみて、「2年もたてば、何でも自分で判断して全部できるようになるのだ。すごいな。」と思っていました。自分が3年目になると、思っていた状況と違いびっくりしました。なにも自分で判断できないし、患者さんや家族にも説明がうまくできない。知っていることと判断することや説明できることは違いました。

大学院に入って研究をしながら臨床をしていたころ、大学院を卒業して博士号を持っている先輩を見て、「自信に満ちている。自分も博士になれば、臨床のことも研究のことも完璧になる。後輩たちに指導もできるようになる。」と思っていました。博士になっても知らないことだらけで、むしろ若い先生より知識が乏しい分野が出てきている気がする始末でした。

若い先生から見ると、上級医の先生方はみんな涼しい顔で、仕事をしているように見えるかもしれません。でも本当はみな一生懸命いろいろ頑張っています。1年目、2年目の研修医の先生も、研修医が終わって3年目の先生も10年目くらいのバリバリ仕事をしている先生や診療科の科長まで、みんな迷い、苦しみ、勉強しながら仕事をしています。

最近気が付きました。医療職に限りません、仕事をする以上は、ずっと勉強をしていかないといけないようです。研修医の先生は慣れない社会人としてのスタートでもあり、どうしていいかわからなくなることもあるかもしれません。そんな時は、一番近くで見てくれている人（同期、指導医、優しい先生）に相談をしましょう。皆が通ってきた道です。安心して頑張ってください。応援しています。

## オリエンテーションを行いました

これから始まる研修生活  
まずは初めの第一歩...



松江市立病院  
Matsue City Hospital

〒690-8509  
島根県松江市乃白町 32 番地 1  
TEL(0852)60-8000 (代)  
FAX(0852)60-8005

発行者 / 松江市立病院 病院長

編集・作成 / 医事課